



アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）

追加型投信／内外／株式

第14期（決算日2015年7月31日）

作成対象期間（2014年8月1日～2015年7月31日）

第14期末（2015年7月31日）	
基準価額	14,648円
純資産総額	2,997百万円
第14期	
騰落率	22.8%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）」は、このたび第14期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。当期についても、これに沿った運用を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス <http://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

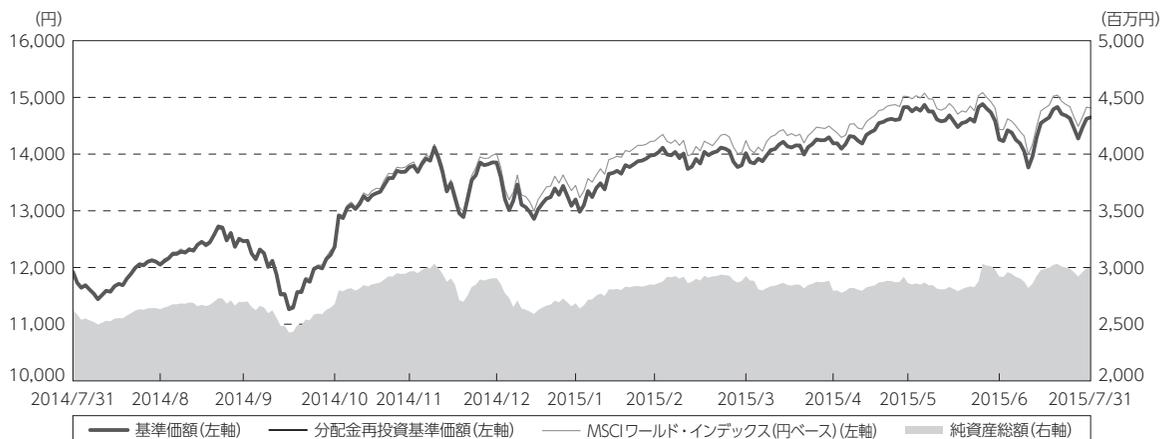
上記ホームページアドレスにアクセス → 「ファンド情報」を選択 → 「株式型」の表内の当ファンド名を選択 → 「運用報告書」のアイコンを選択 → 「運用報告書（全体版）」のアイコンを選択 ※ 10月半ば以降ご覧いただけるよう準備中です。いましばらくお待ちください。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）（以下「当ファンド」）ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2014年8月1日～2015年7月31日）



期首：11,924円

期末：14,648円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：22.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス（円ベース）は、期首（2014年7月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。詳細は3ページをご参照ください。

○当期中の基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比+22.8%*と、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）の+24.3%を下回るパフォーマンスとなりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

成長の可能性が高いと判断し保有した世界各国の株式が、世界経済の先行きや米国の早期利上げへの懸念などから下落する局面があったものの、世界の主要地域で緩和的な金融政策が維持されたことなどを好感して上昇したことに加え、為替相場で円安が進行したことから基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

（2014年8月1日～2015年7月31日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	243	1.814	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(123)	(0.921)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(108)	(0.808)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.039	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の各月末の受益権口数の平均
（ 株 式 ）	(5)	(0.039)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.011	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の各月末の受益権口数の平均
（ 株 式 ）	(1)	(0.011)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.023	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の各月末の受益権口数の平均
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	252	1.887	
期中の平均基準価額は、13,408円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年8月2日～2015年7月31日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス（円ベース）は、2010年8月2日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年8月2日 決算日	2011年8月1日 決算日	2012年7月31日 決算日	2013年7月31日 決算日	2014年7月31日 決算日	2015年7月31日 決算日
基準価額 (円)	7,017	7,314	6,898	9,959	11,924	14,648
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.2	△ 5.7	44.4	19.7	22.8
MSCIワールド・インデックス(円ベース)騰落率 (%)	—	6.6	△ 1.4	54.4	23.2	24.3
純資産総額 (百万円)	1,250	1,546	1,508	2,186	2,627	2,997

- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。

●ベンチマークに関して

○MSCIワールド・インデックス（円ベース）

MSCIワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が世界の先進国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックス（円ベース）は、MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。

投資環境

（2014年8月1日～2015年7月31日）

当期の世界の株式市場は、期首（前期末）と比べて上昇しました。

期初は欧州中央銀行（ECB）による追加金融緩和への期待などから上昇して始まりましたが、2014年9月下旬から10月中旬にかけては中東情勢の緊迫化、米国の早期利上げ警戒感、国際通貨基金（IMF）による世界経済成長見通しの下方修正などが嫌気され、株価は大幅に下落しました。その後、米連邦準備理事会（FRB）が低金利維持を確認したことや良好な米国やドイツの経済指標、中国での約2年ぶりの利下げなど好材料が相次ぎ株価は反発しましたが、12月以降は、ECBによる量的緩和実施や欧州企業の好調な業績発表などが好感される一方、ギリシャの政局懸念や原油価格の下落、米国の早期利上げ懸念などから上値の重い展開が続きました。

2015年4月中旬以降は、良好な米国企業決算、英国の総選挙でビジネスに協力的とされる保守党が勝利したこと、ECBの金融緩和姿勢、日本で景気や企業業績に改善傾向が見られたことなどを好感して堅調に推移しました。

6月から7月上旬にかけては不透明なギリシャ情勢や中国株式急落の影響などを受けて軟調に推移したものの、その後期末にかけては中国株式の反発やギリシャ債務問題の合意などを受けて回復しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2014年8月1日～2015年7月31日）

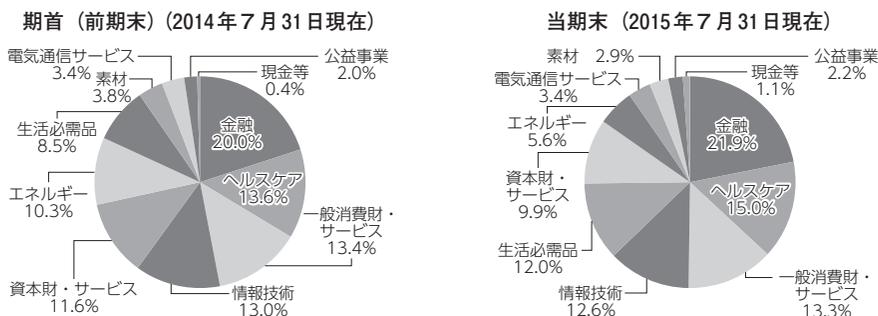
当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される世界各国（日本を含む）の株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは引き続き、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

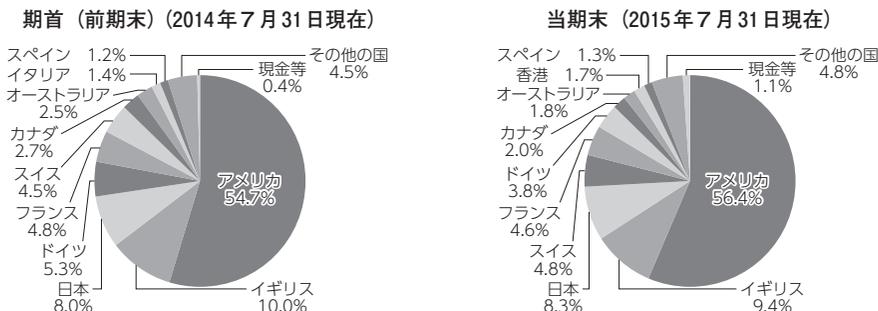
＜マザーファンド＞

世界各国（日本を含む）の株式を対象に成長の可能性が高いと判断されるセクターの中からグローバルな視点で調査・分析し、成長性の高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。運用にあたっては、当期も引き続き、企業のファンダメンタルズ分析をベースとして市場で過小評価された潜在成長力を有する企業に対する投資を継続して行いました。

マザーファンドのセクター別組入比率



マザーファンドの国別組入比率



※セクター配分は、MSCI社/S&P社のGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

※国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

その結果、セクター配分においては、生活必需品セクターや金融セクターの組入比率が上昇する一方、エネルギー・セクターや資本財・サービス・セクターの組入比率が減少しました。国別配分においては、米国の組入比率が上昇する一方、ドイツの組入比率が減少しました。

個別銘柄では、衛生用品のユニ・チャーム、水道会社のアメリカン・ウォーター・ワークス、資産運用会社のアジムト・ホールディングなどを新規に組み入れたほか、医療保険・医療サービスのユナイテッドヘルス・グループなどを買い増しました。一方、P C・モバイル通信機器のアップルなどを一部売却したほか、総合電機メーカーの東芝、医薬品のブリストル・マイヤーズ・スクイブなどを全て売却しました。

株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

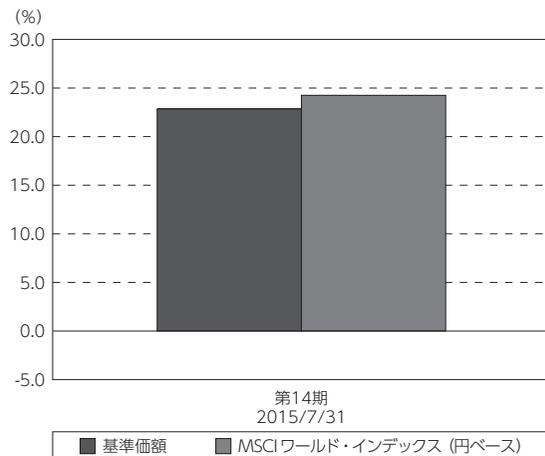
当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年8月1日～2015年7月31日）

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分はプラスに寄与したものの、銘柄選択がマイナス要因となりました。

セクター配分では、素材セクターを低めに保有していたことなどがプラスに働きました。個別銘柄では、生活必需品セクターにおける銘柄選択が主なマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス (円ベース) です。詳細は3ページをご参照ください。

分配金

（2014年8月1日～2015年7月31日）

当期の収益分配については、長期的な信託財産の成長を目指す観点から、見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第14期
	2014年8月1日～ 2015年7月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,813

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界株式市場については慎重ながらも楽観的な見方を維持しているものの、国や地域によって状況が異なるため市場間でばらつきが出ると見ています。

欧州では、流動性資金の増加やユーロ安によって、輸出関連企業の収益性が高まると予想されます。

日本では、コーポレート・ガバナンスの改善が企業収益の伸びや株価上昇の好材料となると考えられます。

一方、米国については、急激なドル高の進行が米国企業の利益成長を減速させる可能性があると考えます。

現在、企業が長期にわたり一定の利益成長を維持することは容易な環境ではありませんが、強力な競争優位性と高い資本利益率を持つ企業はそれを実現する可能性が高いと考えます。

今後も利益成長が期待される企業の中から、株価水準が魅力的な優良銘柄を厳選する方針です。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

2014年8月1日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

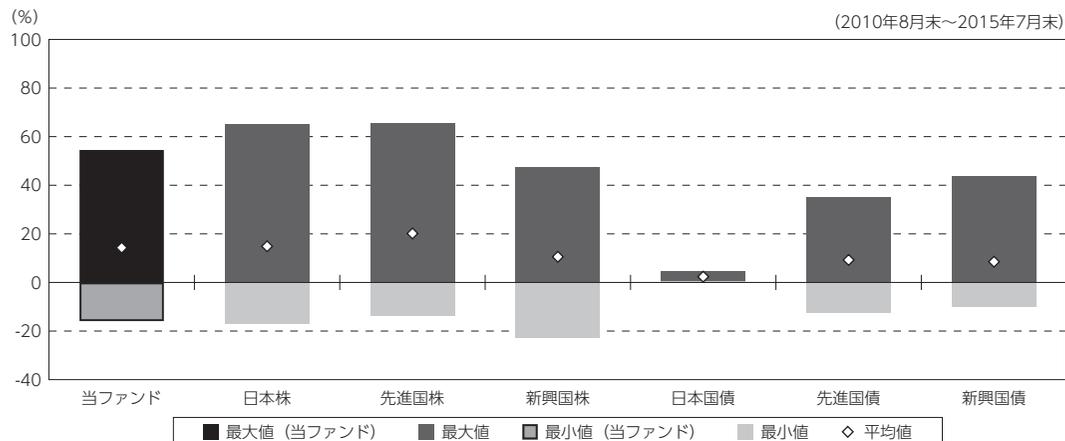
- ①2014年12月1日付けで一般社団法人投資信託協会（以下「投信協会」といいます。）規則が改正実施されたことに伴い、第25条の2（デリバティブ取引等に係る投資制限）を新設し、デリバティブ取引等について、投信協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとししました。（変更日：2014年12月1日）
- ②2014年12月1日付けで投資信託及び投資法人に関する法律が改正施行されたことに伴い、第56条の2（運用報告書に記載すべき事項の提供）を新設し、投信法第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができることとししました。（変更日：2014年12月1日）
- ③信託約款の付表に規定する「別に定める条件に合致する株式、新株引受権証券および新株予約権証券」については、投信協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」等に基づくものであるため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。これに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。（変更日：2015年4月17日）
- ④信託約款の付表に規定する「投資する株式等の範囲」に係る「証券取引所」及び「証券取引所に準ずるものとして別に定める市場」については、信託約款に記載することを求めている規則はないため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。これに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。（変更日：2015年4月17日）
- ⑤信託約款の付表に規定する「先物取引等の運用指図・目的・範囲」に係る「別に定める外国の取引所」については、信託約款に記載することを求めている規則はないため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。これに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。（変更日：2015年4月17日）
- ⑥信託約款の付表に規定する「受託者が外国において保管業務を委任するもの」及び「委託者の指定する販売会社」については、信託約款に記載することを求めている規則はないため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。（変更日：2015年4月17日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じた時は、信託契約を解約し、信託を終了（償還）することがあります。	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。</p> <p>②成長の可能性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。</p> <p>③マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。</p> <p>④実質外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤ファミリーファンド方式で運用を行います。</p>	
分配方針	<p>(1) 決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。</p> <p>(2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行います。</p>	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△ 15.9	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	14.3	14.9	20.1	10.6	2.4	9.3	8.5

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2010年8月～2015年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 (注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株…… TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株…… MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株…… MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債…… NOMURA - BPI 国債
- 先進国債…… シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債…… JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2015年7月31日現在）

○組入ファンド

銘 柄 名	第14期末
	%
アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

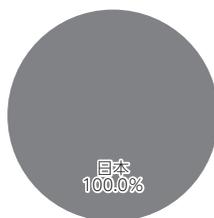
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

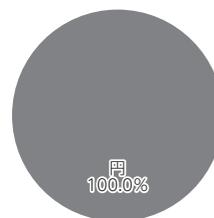
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第14期末
	2015年7月31日
純 資 産 総 額	2,997,136,571円
受 益 権 総 口 数	2,046,045,712口
1万口当たり基準価額	14,648円

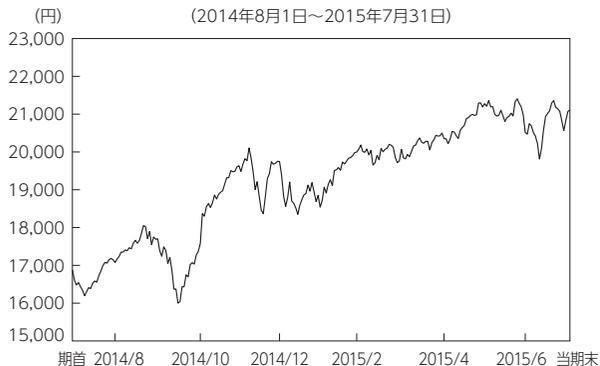
（注）期中における追加設定元本額は497,048,686円、同一部解約元本額は654,515,523円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書 (全体版)」をご覧ください。運用報告書 (全体版) の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年8月1日～2015年7月31日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	8 (8) (0)	0.039 (0.039) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.011 (0.011)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.013 (0.011) (0.002)
合 計	12	0.063

期中の平均基準価額は、19,137円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
 (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

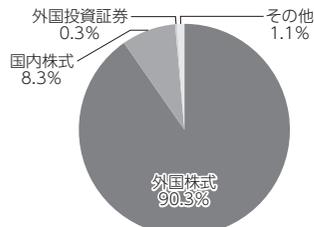
【組入上位10銘柄】

(2015年7月31日現在)

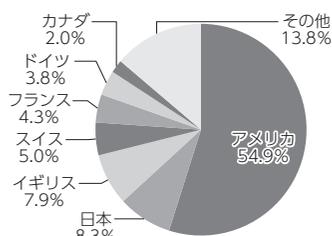
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	WELLS FARGO&COMPANY	銀行	米ドル	アメリカ	1.5%
2	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	1.4
3	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	1.4
4	AIA GROUP LTD	保険	香港ドル	香港	1.3
5	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	食品・飲料・タバコ	英ポンド	イギリス	1.3
6	COMCAST CORP-CL A	メディア	米ドル	アメリカ	1.3
7	ファーストリテイリング	小売業	円	日本	1.2
8	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.2
9	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	米ドル	アメリカ	1.1
10	ANHEUSER-BUSCH INBEV NV	食品・飲料・タバコ	ユーロ	ベルギー	1.1
組入銘柄数			236銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。
 (注) 国 (地域) につきましては発行国を表示しております。

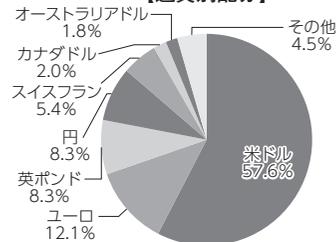
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。